

(7MHz帯)

RD-V40Jr
(RD-V40Jr/BL)

(10MHz帯)

RD-V30Jr
(RD-V30Jr/BL)

(14MHz帯)

RD-V20Jr
(RD-V20Jr/BL)

(18MHz帯)

RD-V17Jr
(RD-V17Jr/BL)

(21MHz帯)

RD-V15Jr
(RD-V15Jr/BL)

(24MHz帯)

RD-V12Jr
(RD-V12Jr/BL)

(28MHz帯)

RD-V10Jr
(RD-V10Jr/BL)**取扱説明書**

2025. 5. 20

このたびはラディックス製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。

また、お読みになられた後は、大切に保存して下さい。

【 特 長 】

- ① エレメントは、振り出し式（3段）です。蝶ボルト付きで、設営や撤収に工具等は必要ありません。
- ② 受風面積が小さく軽量なため、ベランダの手すり等に簡単に取付・取外しができます。
- ③ エレメントは簡易脱着でき、約1mにまで伸縮できますので、未使用時にはコンパクトに収納できます。
また、伸縮が容易なので移動運用にも最適です。

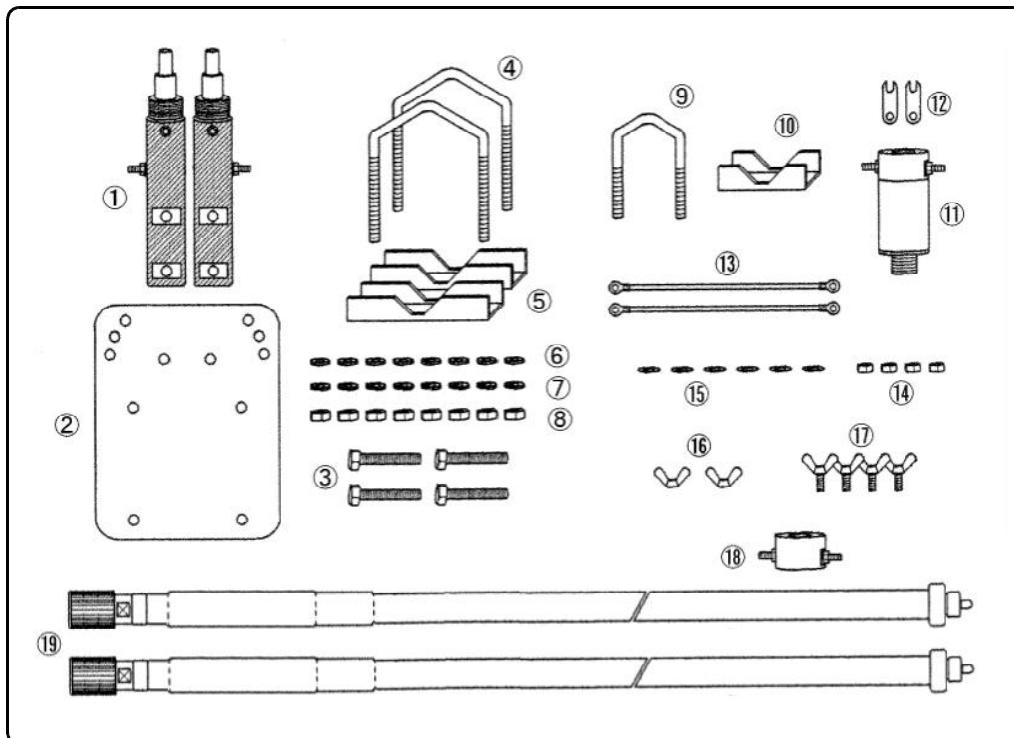
【注意】 RD-V・Jr は エレメントのみです。（RD-V・Jr/BL は RD-BL が附属しております）

ご使用にはバラン付マウントセット（製品名：RD-BL または RD-BL/G）が必要です。

安全にお使いいただくために

- エレメントが、周囲の電線に接触すると感電したり、無線機が故障する恐れがありのすので、電線のそばには設置しないでください。
- 固定をご使用の場合は事故防止のため、ネジ類のゆるみが無いか定期的に確認し、長期間ご使用にならない場合はエレメントをはずしておいてください。
- エレメントの交換や取り外し時は、特に下の状況をよく見て、人通りなどのある時は絶対に作業をしないでください。また引っかけたりしないように周囲に何があるか確認後作業をしてください。
- アンテナを組み立てる時は安全な場所で行い、マスト等に取り付ける際は十分注意し、必ず安全ベルトを着用してください。
- ベランダ等での作業は片方ずつを行い、手すりから身をのりださないように注意してください。
- 風の強い日や雨・雪の日、また夜間は危険ですので絶対に作業はしないでください。
- 送信中にエレメントやヘースコイルには絶対に触れないでください。やけどの原因となり大変危険です。運用中は他の人も危険の無いように十分注意してください。
- 周波数に合ったエレメントを使用してください。また、時々VSWRの確認をして最良の状態で運用してください。VSWRが悪化している場合は原因を確認し、不明の場合は使用を中止してください。

パーツを確認しましょう



番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
①	エレメントホルダー	2	⑪	バルン本体	1
②	マウント・プレート	1	⑫	ショート端子	2
③	六角ボルト (M6×30)	4	⑬	リード線	2
④	U-ボルト (M6-70)	2	⑭	六角ナット (M4)	4
⑤	マウントブラケット	2	⑮	内歯ワッシャ	6
⑥	平ワッシャ	10	⑯	ウイングナット (M4)	2
⑦	スプリングワッシャ	10	⑰	ウイングボルト	4
⑧	六角ナット (M6)	10	⑱	マッチング・ケース	1
⑨	U-ボルト (バルン取付用)	1	⑲	エレメント	2
⑩	バルン・ブラケット	1			

【注意】 ①～⑯ は、エレメント付セット (/BL) に附属されます。

エレメントのみのセットには バラン・マウントセットは附属されておりませんので、別途バルン・マウントセット（製品名：RD-BL または RD-BL/G）をご用意ください。

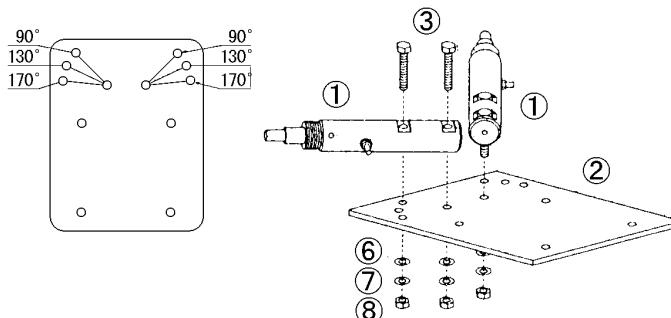
なお、現在 RDE-シリーズやRDL-シリーズでご利用のバルン・マウントセットはそのままご利用できます。

組立方法

※ 7mmと10mmのスパナと(+)ドライバーをご用意ください。

- (1) ②マウント・プレートに ①エレメントホルダーを取り付けます。

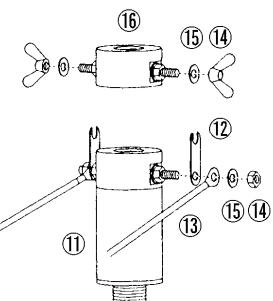
エレメントの角度は、90°, 130°, 170° の3つから適当な角度を選んで取り付けてください。



【参考】ベランダ手摺り等に取り付ける際は、90°での設置を推奨します

- (2) ⑪バルン本体の左右の端子に、⑫ショート端子、⑬リード線、

⑮内歯ワッシャを通して、⑭六角ナット(M4)で接続する。



- (3) ⑫ショート端子の溝に、⑯マッチング・ケース^(注)を合わせ、

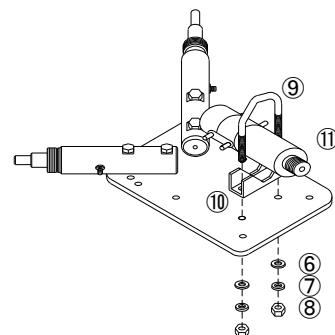
⑮内歯ワッシャを通して、⑰ウイングナット(M4)で止める。

【注意】マッチング・ケースは、エレメントセットに付属します。

- (4) ⑪バルン本体を、⑩バルン・ブラケットの上に乗せ、

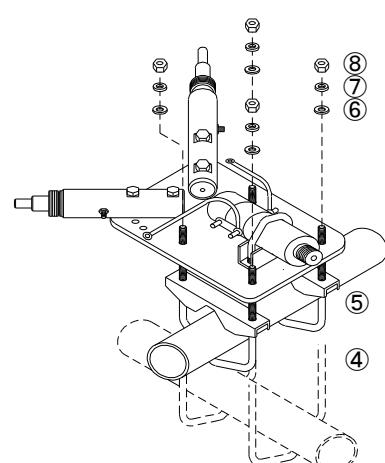
⑨Uーボルト(バルン取付用)で挟み、⑥平ワッシャ(M6)と

⑦S/W(M6)、⑧六角ナット(M6)で固定する。



- (5) ⑪バルンに付けた⑬リード線を、①エレメントホルダー

の端子に、⑮内歯ワッシャと⑭六角ナット(M4)で接続する。



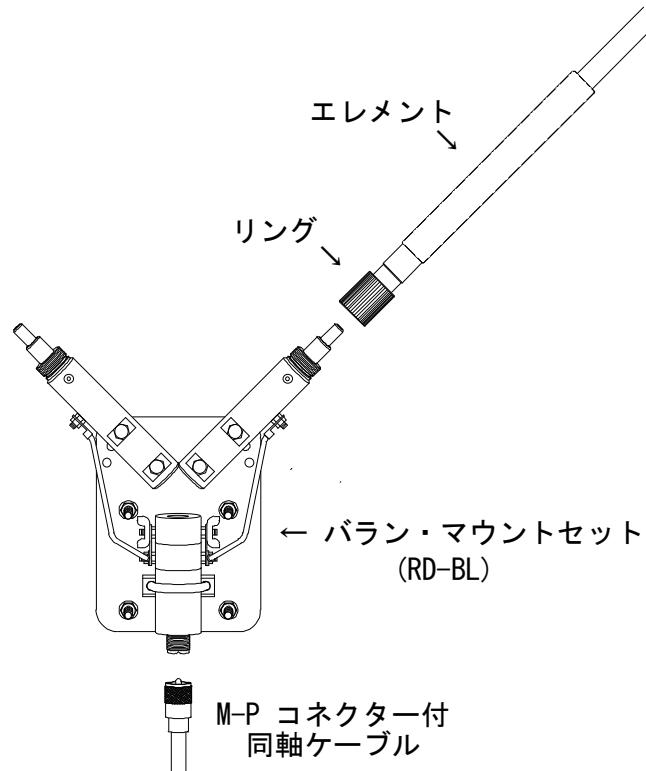
- (6) ④Uーボルトに、マストやベランダの手すりなどの取付希望の部分を通し、①マウント・プレートの穴に合わせて、⑤取付金具といっしょに、⑥平ワッシャと⑦スプリング・ワッシャを通して、⑧六角ナット(M6)でしっかりと固定します。

パイプ状のマストやマストの途中に取り付ける場合は、マストと②マウント・プレートの間に⑤マウントブラケットを挟んで固定します。

- (6) ⑪バルンに付けた⑬リード線を、①エレメントホルダーの端子に、⑮内歯ワッシャと⑭六角ナット(M4)で接続する。

(7) MPコネクター の付いた同軸ケーブルを、バランのコネクター部分に接続する。

(8) 下図のように ①エレメントホルダー の先端に エレメント を差しこみ、リング をしっかりと締める。



【参考】 同軸ケーブルは別売です。調整後、防水のため自己融着テープ
やビニールテープなどで巻いておく事をお勧めします。

【注意】 事故防止のためネジ類はしっかりと締めて下さい。但し、蝶ネジ
を工具などで必要以上の力で締めると、破損することがあります。

【注意】 マッチング・ケースは、周波数帯ごとに違いますので、エレメントと同じ機種・同じ
周波数表示の物をお使いください。 間違えますと、調整ができないばかりではなく、
バラン本体の破損の原因になります。

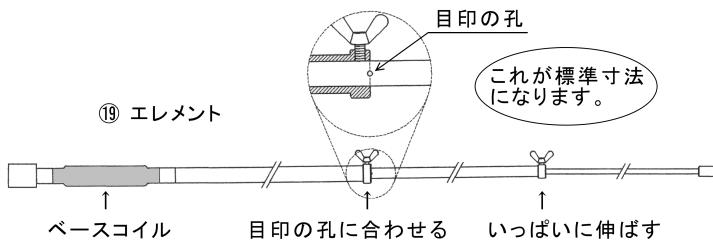
バランに付属のショート端子を無くされた方は当社までお問い合わせください。

調整方法

(1) エレメントを伸ばす

右図のよう、⑯エレメントを伸ばしてください。

⑯エレメントは3段伸縮です。細い部分はいっぱいに伸ばします。中段は図のように下から約10cmの所に目印の孔がありますので、そこに合わせて止めてください。



(2) fo と VSWR の確認 (この取扱説明書では SWR が一番下がっている周波数を fo と称します)

標準寸法時の fo とその周波数における VSWR を確認してください。始めに fo を希望の周波数に合わせます。

[RD-V・Jr は、エレメントの伸縮で fo を調整します。]

fo > 希望の周波数 (fo が高い時) エレメントを伸ばす → 長くする
fo < 希望の周波数 (fo が低い時) エレメントを縮める → 短くする

[エレメント長の伸縮における周波数の変化の割合]

機種名	RD-V40Jr	RD-V30Jr	RD-V20Jr	RD-V17Jr	RD-V15Jr	RD-V12Jr	RD-V10Jr
周波数帯	7MHz	10MHz	14MHz	18MHz	21MHz	24MHz	28MHz
KHz/1cm	14KHz	20KHz	30KHz	44KHz	60KHz	80KHz	100KHz

fo の SWR が 1.5 以下に下がらない場合は、アンテナの向きを変えてみるか、設置場所を変えて再度上記の要領で調整を行ってください。

周囲の影響で、エレメント長さを左右非対称（例えば右だけ数cm短くする）にした方が SWR を下げる事ができる場合もあります。 SWR が下がりましたら、そのエレメント長でご使用ください。
(SWR が下がっていれば、非対称でもアンテナ及びトランシーバー等に影響は有りません)

アンテナチュナーは、fo の SWR が 1.5 程度になりましたら、ONにしてご使用ください。

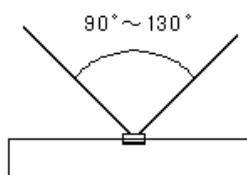
~~~~~ ★★★ VSWR 1.5 以下にならない方へ ★★★ ~~~~  
チュナーやカプラーはスルーにするかは必ずしてありますか。同軸ケーブルはチェックしましたか。見た目は異常が見つからなくても、古い同軸ケーブルは結構痛んでいるものです。わからない事がございましたら、当社までお気軽にご連絡ください。

~~~~~ 【 ちょっと一言 】 ~~~~  
パランはトリファイア巻きを採用していますので、各端子間は全て導通があります。ケーブルの導通チェックの時などはご注意ください。

設置上の諸注意

アンテナは、設置場所や設置方法によって性能や SWR に影響があります。次の事項に注意して設置してください。

- (1) 周囲の金属製の物（日差しや他のアンテナ等）からは、できる限り遠くに設置してください。特に、左右のエレメントがそれらと平行にならないよう注意して設置してください。
- (2) ベランダ等の手すりに設置する場合は、右図のようにV型に設置してください。
- (3) 地上や屋根の上のマストに取り付けて使用する場合は地上（屋根）より1.5m 以上離して上げてください。あまり低いと屋根や建物の影響で SWR が十分に下げられない場合があります。
- (4) 事故防止のため、ネジ類はしっかりと締め、使用しない時はエレメントをはずしておく事をお勧めします。
- (5) エレメントの下部（ベースコイルの上部）には水抜き穴があります。雨天でのご使用時に水がエレメント内に溜まらないよう水抜き穴を下に向けて設置してください。
また、エレメント取付部の先端は穴が開いておりますが、これは水抜き穴です。エレメントをはずした状態で、雨水等が入りましても、大丈夫です。
接触不良の防止の為、汚れ等を拭いた後にエレメントを取り付ける事をお勧めします。
- (6) 強風時には破損の懸念がありますので、安全のためエレメントを収納いただくか、外してください。
固定局のご利用で、エレメントを簡単に外せない場所へ設置する場合、
- (7) 長時間の送信や定格以上のパワーで使用しますと、コイル部分が高温になり、線材の熱膨張によりコイルの定数が変わってしまい f_0 が低くなります。帯域を超えてしまう場合も有りますので、SWR の変化には十分ご注意ください。コイルの発熱で f_0 が変化した場合は、ほとんどの場合送信せずにコイルが冷えれば元の f_0 に戻ります。コイルが過熱しすぎない程度の出力ご利用ください。
- (8) 短縮率が大きいため帯域幅が狭いので、アンテナチューナーの併用をお勧めします。



ベランダを上から見た図

定 格

| 製品名
(RD-BL付セット) | RD-V40Jr
(RD-V40Jr/BL) | RD-V30Jr
(RD-V30Jr/BL) | RD-V20Jr
(RD-V20Jr/BL) | RD-V17Jr
(RD-V17Jr/BL) | RD-V15Jr
(RD-V15Jr/BL) | RD-V12Jr
(RD-V12Jr/BL) | RD-V10Jr
(RD-V10Jr/BL) |
|---------------------|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 周波数帯 | 7MHz | 10MHz | 14MHz | 18MHz | 21MHz | 24MHz | 28MHz |
| 型 式 | 1／2 λ 短縮ダイポール | | | | | | |
| V SWR ^{*1} | 1.5 以下 (f_0 : 中心周波数において) | | | | | | |
| バンド幅 | 約15KHz | 約30KHz | 約50KHz | 約80KHz | 約170KHz | 約300KHz | 約700KHz |
| インピーダンス | 50 Ω | | | | | | |
| 耐入力電力 | 200W (SSB) / 150W (CW) / 75W (ALL MODE) | | | | | | |
| 全 長 | 約 5,150mm (水平) / 約 3,650mm (90°) | | | | | | |
| 耐 風 速 | 瞬間最大風速 30m/sec. | | | | | | |
| 適合マスト | ϕ 25mm ~ ϕ 60mm | | | | | | |
| 重 量 | 約1.1kg / [約 1.9kg (RD-BL付)] | | | | | | |

*1 VSWR 1.5 以下の帯域幅（当社基準測定による）。*2 上記定格は RD-BL を利用時の場合です。

- アマチュア局の工事設計書（申請・変更）の空中線の型式には「ダイポール」とお書きください。
- このアンテナはアマチュア無線用のアンテナです。この用途以外、規格外、または正常に動作していない状態でのご使用にて発生したトラブルにつきましては、責任を負いかねます。
- お買い求めいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故等による、破損などがございましたら当社までご連絡ください。